

知事杯 県剣道選手権大会

男子は林田匡平選手が連覇、 女子は大西ななみ選手が4連覇！



第114号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟
会長 片山 外一

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズ二の宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fukikendo@herb.ocn.ne.jp

知事杯 第19回福井県剣道選手権大会

令和4年6月26日(日)
於 福井県立武道館



福井県剣道連盟は「福井県知事杯 第19回福井県剣道選手権大会」を6月26日(日)、福井県立武道館で開催した。県内各地区剣道連盟および団体から選出された代表選手男子29人、女子22人が出場し、男女別トーナメントで競った。男子の部は林田匡平選手(学剣連)が2年連続4度目、女子の部は大西ななみ選手(学剣連)が4大会連続4度目の優勝を飾った。林田選手は11月3日(木・祝) 日本武道館で開催される「第70回全日本剣道選手権大会」へ、大西選手は9月4日(日) 奈良県橿原市のジェイテクトアリーナ奈良で開催される「第61回全日本女子剣道選手権大会」への福井県代表選手としてそれぞれ選考された。

試合結果は以下の通り

▽男子の部

優勝 林田 匡平(学剣連)

※全日本選手権出場は3年連続5回目

2位 田中 大志(県警察)

3位 鹿本 裕登(県警察)

3位 増田 貴彦(県警察)

▽女子の部

優勝 大西 ななみ(学剣連)

※全日本女子選手権出場は5年連続8回目

2位 梅原 陽乃(越前地区)

3位 川端 心愛(南条地区)

3位 牛嶋 いつか(福井地区)

福井県知事杯 第19回福井県 剣道選手権大会を観戦して

審判長 教士八段 堀江 範雄

今年度も残念ながら新型コロナウイルス感染症対策により3年連続無観客の大会を余儀なくされた。これが当たり前で違和感がないと、自身が錯覚を覚え、勘違いをしてはいけない。早く観客の中で大会を実施し、剣道の魅力を伝えることをしなければならぬと痛感している。

さて、今年も開会式前に審判員及び選手全員で「新型コロナウイルス感染症が収束するまでの暫定的な試合、審判法」の講習会を実施して意思の統一を図り、それぞれがそれぞれの立場で本大会に臨んだ。数名の選手の不出場もあったが、各地区剣道連盟から男子29名、女子22名の精鋭が福井県知事杯と、更に女子は9月4日(奈良県)、男子は11月3日(日本武道館)で開催される「第70回



全日本選手権出場をかけた熱戦を繰り広げる出場選手



全日本剣道選手権大会」 「第61回全日本女子剣道選手権大会」への出場権を獲得すべく鏑を削った。

開会式では大会長である片山会長から「それぞれが力を出し、頂点を目指して欲しい」と選手を鼓舞する挨拶があった。また私(審判長)からは「姑息なことはするな、正々堂々と試合を展開し、有効打突で決着つけること」と競技上の注意を述べた。今回の試合内容は若干の鏑迫り合いからの反則行為もあったが、殆どの選手が鏑迫り合いから素早く間合いを切り積極的に攻めてから技を出す活性ある試合が展開され、見事な技が出る度に会場から「オオッ!」という歓声が沸き上がっていた。今回もこの魅力を伝えることが出来な

い無観客が大変残念に思った次第である。



【女子】

今年も盤石で実力者の大西ななみ選手(学剣連)を誰が打ち負かすか、また子育て奮闘中であるが実績十分の加藤藍子選手(敦賀地区)が4年振りの復帰出場に注目を集めた。ベテランと高校生、大学生等若手の対決となり、所属地区こそ違いが高校、大学の出身が同じでお互い手の内を知り尽くしてなかなか勝敗がつかない試合もあったが、全て有効打突で勝敗が決着したことに日頃の稽古の成果が表れていたと感じた。

1回戦から白熱した試合が続ぎ、ベスト4には大西ななみ選手(学剣連)、川端心愛選手(南条地区)、牛嶋いつか選手(福井地区)、梅原陽乃選手(越前地区)の教員と大学生が勝ち残った。準決勝戦第1試合は大西選手と川端選手の対戦で、動きを止めない大西選手が川端選手にメ

ン、コテを連取し快勝した。第2試合は牛嶋選手と梅原選手の対戦で、大学生同士の駆け引きのある試合が展開され、結局梅原選手がコテの1本勝ちを収めて決勝戦に駒を進めた。決勝戦は大西選手と梅原選手、昨年と同じカードで敦賀高校での師弟対決となった。

試合は昨年の借りを返す意気込みで気迫溢れる梅原選手に対して、そこは教え子の動きを察知していた大西選手がメンを先取。その後も果敢に攻め、梅原選手の惜しい飛び込みメンもあったが大西選手が梅原選手の攻撃を上手く凌いで、時間切れにより大西選手の勝ちが決まり連覇が達成された。流石に大西選手の試合運びは相手のペースにしないところが素晴らしい。もう一息のところまで敗れはしたものの梅原選手の打突の冴え、特にコテ打ちは昨年より冴えがあり素晴らしいと感じた。来年こそはリベンジをして頂きたい。

【男子】

昨年の第69回全日本剣道選手権大会準優勝の林田匡平選手(学剣連)を誰が負かすのか、と注目された。試合では全選手が積極果敢に技を出し、反則で勝敗が決定することなく有効打突により勝敗が決定し、試合の進行が早く進んだことは大変良かった。

たと思う。ベスト4には林田匡平選手(学剣連)、鹿本裕登選手(警察)、田中大志選手(警察)、増田貴彦選手(警察)の教員と警察官が勝ち残った。

準決勝第1試合は難敵である山崎選手(警察)を破った林田選手と、上段では全国レベルの鹿本選手の試合となり、鹿本選手の上段から振り下ろすスピードに林田選手も苦戦が予想された。試合中盤、鹿本選手が上段からコテを打ち林田選手がメンを打った瞬間、林田選手のメンに旗が上がった。審判長席からは鹿本選手のコテが一瞬早く1本と思った。後で審判員に「鹿本選手のコテではないのか？」と確認したところ、審判員自身も鹿本選手のコテかと思っただけで、林田選手がコテ、メンの連続技を打ち、コテがお互い相殺となり、林田選手のメンが1本となった、と説明した。何と！上段に対する相コテ、メンである。そんな高度の技が打てるのか？恐るべし林田選手！と感嘆した。更に2本目は鹿本選手が上段からメンを打とうと右手を離れた瞬間を、林田選手が素早くその右コテを決めて2本勝ちを収めた。

第2試合は同門、警察官同士の田中選手と増田選手の試合となった。日頃から一緒に稽古をして手の内を知り尽くしている者同士で、これは



精神面、メンタルの強い方が勝ちを収める予感がした。試合は増田選手がコテに打つところを田中選手が飛び込みメンを打ち1本先取した。2本目は後がない増田選手が、眠りから覚めた獅子のように気合十分な連続技で、躊躇した田中選手がメンに打ってきたところを擦り上げメンで取り返した。勝負となりこのまま増田選手の勢いで行くのかと思いきや、安心したのか突如増田選手の獅子が眠ってしまい、そのうちに田中選手の豪快なメンが決まり勝敗が決定した。残念なことに増田選手のメンタルの弱さが勝敗を分けたと読んだ。

決勝戦は連覇を狙う林田選手と、初の決勝進出、初の選手権大会出場を狙う田中選手との初対決となった。試合は開始早々林田選手のメン打ちより速いと言われるコテ、メンが炸裂しメンを先取。2本目は田中選手も負けじと得意の豪快な飛び込みメンを打つが、林田選手のコテに

切り落とされ、この瞬間林田選手の三連覇が決定した。お互いが気と気でぶつかった好試合であり、会場から賞賛の拍手が湧き上がった。

【総括】

女子の試合を観て、それぞれの立場で出場した選手、特に警察官となった八幡選手、そして惜敗した高校生チャンピオンの青池選手等には今後の活躍を期待したい。また主婦で出場した加藤選手は来年も是非出場して、その存在を存分にアピールして頂きたいと思う。いずれにしても女子は将来が楽しみな選手が多く、再度1年間頑張つて精進し、来年も出場して欲しいものである。

男子については、ようやく剣道訓練が再開し少しは稽古量も増えた警察官の出場があり、大会自体盛り上がったように思う。現在、警察官は職業上独自の稽古が強いられている。本県は早急に全国トップレベルの林田選手を中心とした合同稽古を実施して、本県の剣道レベルアップを図ることが急務であると感じている。またその対策を検討する必要がある。

本年度全日本剣道選手権大会に出場する男子の林田匡平選手、女子の大西ななみ選手には、勝手とは承知しているがアベック優勝を本県剣道

連盟も期待しており、その可能性は十分にあると思っている。剣道連盟もバックアップしたい。健闘をお祈りします。

剣道は、剣道具を付けてやることだけが剣道ではない。自分がどのような環境であろうとも今やれることは何かを考えて、それを実行することが大切であると思う。これが剣道のみならず人生、また生活に活かされる大切なことなのである。偉そうに言いましたが私もそのことを思い日々精進している。「捲土重来」、「今度は俺だ！私だ！」という強い気持ちを持ち、今後の稽古に精進して頂きたい。そして来年もここ県立武道館で戦って頂きたいと思う。



最後に、本年もコロナ禍の中での大会となったが、ご尽力いただいた各地区剣道連盟、審判員、係員、選手、特に事業部員皆様のご協力により大会が無事終了したことに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。来年度こそは、観客の中で大会が開催されることを願うばかりです。

全国大会 本県勢の活躍

第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

令和4年4月29日(金)

於 エディオンアリーナ大阪
 全日本剣道連盟主催の「第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会」が4月29日(金・祝)、大阪市のエディオンアリーナ大阪で開催されました。福井県チームは1回戦で兵庫県に勝った静岡県と2回戦で対戦、1対3で敗れ2回戦敗退でした。優勝は茨城県、2位は愛知県、3位は大阪府と福岡県でした。

▽2回戦
 福井県 静岡県
 監督 柳原潤一郎 二橋高弘
 先鋒 宇野竜明 引き分け 藤江宥心
 次鋒 奥村龍也 引き分け 野瀬俊也

五将 梅田圭仁 一メ、ツ 秀徳信彰
 中堅 西川航平 一メ 設楽海斗
 三将 鹿本裕登 一メ、メ 望月一世
 副将 中村好伸 引き分け 二橋光哉
 大将 松井宏文 ド、コーコ
 吉留秀俊



観戦記

強化・選考部長 柳原潤一郎
 標記の大会が4月29日(金)、大阪市のエディオンアリーナで開催されました。本県は2回戦からの登場で、初戦で兵庫県を下した静岡県との対戦となりました。

先鋒の宇野選手(敦賀高)は終始互角に試合をすすめ、終盤見事な諸手のツキを放ちますが有効とはなりません。接触した瞬間の引き技を狙う場面もありましたが決まらず、引き分けです。

次鋒は、今春大阪体育大学に進学

した奥村選手。国士館大学4年生の相手にも全く気後れすることなく対峙し、上からと下からの攻めを効果的に使って相手に好機を与えずこども引き分けです。

五将梅田選手(啓新高教)は、12月に行われた前回大会で内容のある試合を披露し、その後の稽古も充実しており期待が持てましたが、試合中盤、勝機とみて出たコテをうまくかわされてメンを先取されます。ここから終盤にかけて、思い切ったメンを何度も仕掛けますが決まらず、さらに攻めこもうとしたところでツキを奪われます。

中堅戦は、本県の西川選手(美方高教)が今大会中堅の最年長(38歳)で、その相手選手は同最年少(23歳)という興味深い対戦となりました。立ち上がりから剣先を効かせて好機を伺いますが相手は崩れません。中盤はツキの応酬などがあつたものの有効とはならず、さらに間合いを詰めて前に出ようとするとこをメンに乗られます。終盤にかけて取り返そうと積極的に仕掛けましたがうまくかわされ1本負け。

三将鹿本選手(福井県警)は、一つ取り返したいところと上段から片手メン、諸手のコテなどを何度か仕掛けます。観客席の声援を注意する中断があつた直後、片手メンを返さ

れてメンを先取され、さらに終盤に飛び込みメンを追加され、ここで勝負が決してしまいました。

副将中村選手(刑務官)は大学時代の同期生との対戦となり、どちらも負けじと技を繰り出すものの有効打とはならず、引き分け。

大将の松井選手(敦賀気比高教)の相手は、教士八段の吉留選手で、兵庫県との1回戦では鋭い出ばなコテで1本勝ちしています。序盤にその警戒していた出ばなコテで先取されましたが、果敢に攻撃を仕掛け、攻め間に入って相手の手元が上がったところに思い切つてドウに飛び込むと、これが見事に決まります。さらに終盤、吉留選手がメンに来た出ばなをコテにとらえて逆転、見事な勝負を見せました。静岡県はベスト8に進出、吉留選手は優秀選手に選出されています。



第70回全日本学生 剣道選手権大会

令和4年7月3日(日)
於 日本武道館

福井県勢の結果
▽1回戦

八幡(福井工大) ドドー

岡田(中京大)

植山(福井工大)

岩崎(国土館大)

菅藤(福井工大)

小倉(同志社大)

弓納持(福井工大)

川尻(国土館大)

井手(福井工大)

木村(鹿屋体育大)

小浦(福井工大)

小畔(中央大)

▽2回戦

八幡(福井工大)

加藤(広島大)

※2回戦敗退



第56回全日本女子学生 剣道選手権大会

令和4年7月2日(土)
於 日本武道館

福井県勢の結果
▽1回戦

牛嶋(福井工大) ーメ

中西(明治国際医療大)

小玉(福井大)

笠(筑波大)

本学生剣道東西対抗試合 第16回全日本女子学生
主催：毎日新聞社 後援：スポーツ庁・全日本剣道連盟・(公財)日本武道館・(一財)東京レシヤパン・JX全盟 主幹：関東学生剣道連盟



第69回全日本学生剣道 東西対抗試合

福井県勢の結果

東軍

次鋒 井手和樹

(福井工大)

九将 菅藤尚哉

(福井工大)

西軍

コー 恒松

(近畿大)

ーメ 向江脇

(関西学院大)

※東軍が優勝



第14回全日本都道府県対抗 女子剣道優勝大会

令和4年7月10日(日)
於 日本武道館

全日本剣道連盟主催の「第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」が7月10日(日)、日本武道館で開催され、福井県チームは2回戦で宮城県チームと対戦、1対2で敗退しました。優勝は京都府チーム、準優勝が熊本県、3位が茨城県と高知県。

▽2回戦

福井県

監督 高嶋 寿美

宮城県

五十嵐裕子

先鋒 青池玖瑠美 引き分け

佐藤 真子

次鋒 梅原 陽乃 引き分け

眞崎 千尋

五将 大西ななみ ーメ、ツーコ

佐々木菜奈

中堅 田中 更幸 ーメ、コ

昆野さやか

三将 山田 聖子 引き分け

加藤あゆみ

副将 橋本 一美 ーコ

中村 優子

大将 道内由佳里 引き分け

味上 真紀

※2回戦敗退

観戦記

監督 高嶋 寿美

7月10日(日)、日本武道館で開催された「第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」に初めて監督として出場させて頂きました。日本武道館という会場で試合ができる機会はなかなかありません。選手にとって光栄なことであり、思い出に残る一日です。開会式では、会場がパツト明るくなる演出があり、興奮して益々やる気満々になりました。

選手は、各自試合に向けてしっかりと準備をしてきたと思います。朝のアップも最後までやっている選手がいるなど、当日の準備もしっかり出

来ていました。試合内容は、全体的に見て自分から間合いを作りに行き、たくさん攻めていて良かったです。有効打突に近い技もたくさんありました。しかし結果は1対2で敗退し、とても悔しい思いをしました。負けの時の責任は監督にあります。試合までに何かできたのではないかと、甚く反省しております。この大会での初勝利を目指していましたが、来年に持ち越しとなりました。来年こそは1勝、というより、上位を目指したいと思いました。

他県の強豪チームは、前半が強く後半に繋がられるチームだったり、後半が強く前半で負けを喫していても後半で追いつき、逆転できるチームだったりでした。前の選手が失敗したとしても、後ろの選手が失敗したとしても「私が決めてやる」「大丈夫、任せて」と言っているようで、試合に対する強い意志を感じました。それがチームを勝利に導いたり、選手全員の士気を高めていると思いました。本県チームは大西選手を軸にすることができず。大西選手を中心に、入賞以上を狙うくらいの気持ちで

選手全員が試合に挑み、取れる試合はしっかり取って、厳しいと思われる試合は足を使って相手の攻めをかわし、大将までしっかり繋げて、チームとして結果的に勝利に導くことができるようになりたいと思いました。また全国大会に出場することをゴールにすることなく、上位目指して虎視眈々と意識高く、打ち切る技をたくさん出す。稽古で自信をつける。そして試合を、剣道を真剣に楽しむことが一番だと思いました。

これまでの5人制から7人制になったこともあり、この大会の選手の年齢層はかなり幅広いです。稽古量や体力、スピード、パワーも違います。幅広い年齢層なので普段一緒に剣を交えないし、お互いの交流もあまりない者同士でしたが、移動や食事の時には色々なことを話したりして、とても充実した楽しい時間を一緒に



過ごし、素晴らしい経験をする事ができたと思っています。剣道の発展を目指して様々な活動をされています。ありがとうございます。ありがとうございます。



第56回全国道場少年剣道大会

令和4年7月28日(木)
29日(金)

於 日本武道館

全日本剣道道場連盟主催(全剣連等後援)の「第56回全国道場少年剣道大会」が7月28日(木)、小学生の部・29日(金)、中学生の部、日本武道館で開催されました。全国各都道府県予選大会を勝ち抜いき、小学生の部には620チーム、中学生の部には511チームが出場。本県からは5月1日(日)敦賀市立体育館で開催された「第35回福井県道場少

年剣道大会」で上位入賞した小学生6チーム、中学生5チームが出場し、上位入賞を目指して熱戦を繰り上げました。小学生の部で福井今立道場、中学生の部で福井養正館が各ブロックスの3位に入賞し表彰されました。

本県勢の結果は次の通りです。

【小学生の部】

▽1回戦

- ・福井今立道場(佐々木海緒、三田村幸志郎、田中颯馬)
- 1(本数勝ち)――1

宇美剣友会(福岡)

▽2回戦

- ・福井養正館B(岩谷明依、寺川凱都、中村将希) 0――2
- 高神剣道教室(千葉)

- ・鯖江剣道団(伊藤亘希、西口陽齋藤楓我) 1――2
- 錬心館市原道場(千葉)

- ・木田剣道スポーツ少年団(竹内智弥、寺前秀朔、安達丈留) 1(代表負け)――1
- 福岡十生館(福岡)

- ・鳥羽スポーツ少年団剣道部(畑祐太郎、中荒江羽未、湧口稜大) 1(本数負け)――1
- てらこ屋学道館剣道部(滋賀)

- ・福井今立道場 2――1
- 芳明館(茨城)

・福井養正館 A (元井汰希、岩谷賀生、熊谷薩馬)

0 (代表勝ち) 1-0

俊水館道場 (茨城)

▽3 回戦

・福井今立道場

1 (本数勝ち) 1-1

吉成剣友会 A (宮城)

・福井養正館 A 1-0

竹の子剣道クラブ (大阪)

▽4 回戦

・福井養正館 A 0-1

昭島中央剣友会 A (東京)

・福井今立道場 2-0

岡崎少年剣心会 (愛知)

▽5 回戦 (第13ブロック準決勝)

・福井今立道場 1-2

高田少年剣道クラブ (熊本)

▼入賞

優 勝 白川台少年剣修会 (兵庫)

準優勝 双海剣道会 (愛媛)

3 位 K I Z U N A 塾 (熊本)

3 位 洗心道場 A (愛知)

【中学生の部】

▽1 回戦

・福井今立道場 B (森川瑞紀、中村葵、山田典悠) 1-0

陵武館山崎道場 A (福島)

・福井養正館 (常田和太郎、前田恭吾、松口直次郎) 2-0

雄邦館 A (東京)

・鯖江志土樹館道場 (山本紀仁、矢田部暁、伊藤彬) 2-0

東広島剣道クラブ (広島)

・鯖江剣道団 (田中悠真、荒井健汰堀 登真) 1-0

八幡剣友会 (宮城)

・福井今立道場 A (橋本勝央、山口範登、和田憲知)

1 (本数負け) 1-1

昭島中央剣友会 A (東京)

▽2 回戦

・福井今立道場 B 2-0

北上警察署剣道スポーツ少年団さくら館 (岩手)

・福井養正館 1 (本数勝ち) 1-1

境剣友会 (茨城)

・鯖江志土樹館道場 0 (代表負け) 1-0

岩沼西少年剣道錬成会 (宮城)

・鯖江剣道団 1 (代表勝ち) 1-1

結城尚武館 (茨城)

▽3 回戦

・福井今立道場 B 0-3

諫早少年剣道亀舟館 (長崎)

・福井養正館 1-0

春風館 (福岡)

・鯖江剣道団 1 (本数負け) 1-1

栗東守道館 (滋賀)

・鯖江剣道団

・福井今立道場 B 0-3

諫早少年剣道亀舟館 (長崎)

・福井養正館 1-0

春風館 (福岡)

・鯖江剣道団 1 (本数負け) 1-1

栗東守道館 (滋賀)

▽4 回戦 (第7ブロック準決勝)

・福井養正館 1-2

高森武道会 (熊本)

▼入賞

優 勝 光龍館 (香川)

準優勝 正剣館 (鹿児島)

3 位 東松館道場 A (東京)

3 位 大野東剣道スポーツ少年団 (福岡)

大会・予選会・稽古会等

2022年度全国健康福祉祭
ねんりんピック剣道交流大会
福井県予選会

令和 4 年 4 月 10 日 (日)

於 福井県立武道館

本年11月に開催される「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会 ねんりんピック」が、わ2022」出場選手の予選会が、4月10日(日)に県立武道館で行われました。15人が年齢別3部門に分かれて競い、次の方々が11月12日(土)から14日(月)まで、神奈川県伊勢原市で行われる「ねんりんピック剣道交流大会」の出場を決めました。

先鋒 八幡 喜己 (福井地区)
次鋒 田中 秀幸 (福井地区)

中堅 的矢 俊昭 (南条地区)
副将 船田久三郎 (福井地区)
大将 吉田 淳夫 (三方地区)
監督



第21回宮本武蔵顕彰女子剣道大会
「お通杯」福井県選手選考会

令和 4 年 4 月 10 日 (日)

於 福井県立武道館

本年10月に岡山県美作市で開催予定の「第21回宮本武蔵顕彰女子剣道大会「お通杯」」に、次の方々が出場することが決まりました。

※参加者が選考数6名と同数であったため、予選の試合は行いませんでした。

橋本 一美 (坂井地区)
谷口 典子 (越前地区)
大味香代子 (坂井地区)
田中佐代子 (鯖江地区)

岡田 恵子 (坂井地区)
堀江 ユミ (坂井地区)



令和4年度剣道中央伝達講習会

令和4年4月17日(日)

於 福井県立武道館

福井県剣連は4月17日(日)、県立武道館で「令和4年度剣道中央伝達講習会」を開催しました。各地区剣連から少年剣道の指導者など約50



人が参加、4月2日(土)〜3日(日)の全剣連中央講習会を受講された西川譲専務理事(教士七段)から講義、実技指導を受けました。補助講師は堀江範雄常務理事(教士八段)、柳原潤一郎強化・選考部長(教士七段)、山本英俊常務理事(教士七段)。

講習会内容は次の通りでした。

- ・ガイドラインを踏まえた試合・審判法の説明
- ・暫定的な審判法の実技研修
- ・木刀による基本技稽古法、日本剣道形の実技指導
- ・剣道具着装による実技指導
- ・ガバナンス・コンプライアンスについての説明

令和4年度福井県高等学校春季剣道選手権大会

令和4年4月23日(土)

於 福井県立武道館

「令和4年度福井県高等学校春季剣道選手権大会」が4月23日(土)、敦賀市立体育館で団体戦が行われ、男子は丸岡高校、女子は敦賀高校が制しました。男子15校(棄権含む)、女子11校が出場。結果は次の通りです。

【男子団体】

▽1回戦

- 高志高 4-1 鯖江高
- 敦賀気比高 3-0 羽水高
- 丸岡高 1-0 金津高
- 藤島高 5-0 福井高専
- 敦賀高 3-0 武生高
- 北陸高 (不戦勝) 武生商工高
- 福井工大福井高 3-0 美方高

▽2回戦

- 高志高 3-2 啓新高
- 丸岡高 3-0 敦賀気比高
- 敦賀高 4-0 藤島高
- 福井工大福井高 4-0 北陸高

▽準決勝

- 丸岡高 3-1 高志高
- 敦賀高 1(代表勝ち)-1 福井工大福井高

▽決勝

- 丸岡高 3-0 敦賀高



男子団体優勝 丸岡高校

【女子団体】

▽1回戦

- 敦賀高 1(代表勝ち)-1 北陸高
- 金津高 3-1 高志高
- 敦賀気比高 2(代表勝ち)-2 福井商高

▽2回戦

- 敦賀高 5-0 羽水高

美方高 2-0 啓新高
藤島高 1(本数勝ち)-1 金津高

▽準決勝 敦賀気比高 3-1 丸岡高

敦賀高 3-1 美方高

敦賀気比高 5-0 藤島高

▽決勝 敦賀高 1-0 敦賀気比高



女子団体優勝 敦賀高校

第35回福井県道場少年剣道大会

令和4年5月1日(日)

於 敦賀市立体育館

全日本剣道道場連盟主催、福井県剣道道場連盟主管、福井県剣道連盟など後援の「第35回福井県道場少年剣道大会」が5月1日(日)、敦賀市立体育館で開催されました。県道場連盟加盟の各道場から団体戦には小学生23チーム、中学生27チーム、

個人には小学生男子32名、女子22名、中学生男子31名、女子27名が出場、本年7月28日(木、小学生団体)と29日(金、中学生団体)日本武道館で開催される「第56回全国道場少年剣道大会」と、10月16日(日)に愛知県のパークアリーナ小牧で開催される「全国道場少年剣道選手権大会(第46回小・中学生男子、第39回小・中学生女子)」の出場権を掛けて競いました。
結果は次の通りです。

■小学生の部

【団体戦】

優勝 木田剣道スポーツ少年団A (福井市)

準優勝 福井養正館A (敦賀市)

第3位 福井今立道場B(越前市)

第3位 鳥羽スポーツ少年団剣道部 (鯖江市)

敢闘賞 鯖江剣道団 (鯖江市)

敢闘賞 福井養正館B (敦賀市)

【個人戦男子】

優勝 熊谷 薩馬(福井養正館)

準優勝 田中 颯馬 (福井今立道場)

第3位 田中 陽登 (鯖江志土樹館道場)

第3位 安達 丈留 (木田剣道スポーツ少年団)

第3位 安達 丈留 (木田剣道スポーツ少年団)

第35回福井県道場少年剣道大会 (後)全国道場少年剣道大会福井県予選会



団体第3位 福井今立道場B

第35回福井県道場少年剣道大会 (後)全国道場少年剣道大会福井県予選会



団体準優勝 福井養正館A

第35回福井県道場少年剣道大会 (後)全国道場少年剣道大会福井県予選会



団体優勝 木田剣道スポーツ少年団A

第35回福井県道場少年剣道大会 (後)全国道場少年剣道大会福井県予選会



小学生個人男子

第35回福井県道場少年剣道大会 (後)全国道場少年剣道大会福井県予選会



団体第3位 鳥羽スポーツ少年団剣道部

【個人戦女子】

優勝 橋本 晏利 (福井今立道場)

準優勝 宮田小都乃 (木田剣道スポーツ少年団)

第3位 富田 純礼 (新風館愛宕坂道場)

第3位 岩谷 明依(福井養正館)

35回 福井県道場少年剣道大会
(兼)全国道場少年剣道大会福井県予選会



団体優勝 福井今立道場 A

中学生の部
【団体戦】

- 優勝 福井今立道場 A (越前市)
- 準優勝 福井養正館 A (敦賀市)
- 第3位 福井今立道場 B (越前市)
- 第3位 鯖江剣道団 A (鯖江市)
- 敢闘賞 鯖江志士樹館道場 A (鯖江市)

5回 福井県道場少年剣道大会
(兼)全国道場少年剣道大会福井県予選会



小学生個人女子

35回 福井県道場少年剣道大会
(兼)全国道場少年剣道大会福井県予選会



団体第3位 鯖江剣道団 A

35回 福井県道場少年剣道大会
(兼)全国道場少年剣道大会福井県予選会



団体第3位 福井今立道場 B

35回 福井県道場少年剣道大会
(兼)全国道場少年剣道大会福井県予選会



団体準優勝 福井養正館 A

※団体(小学生6団体、中学生5団体)、個人(各部門優勝者)は、

- 優勝 山下 心優 (鯖江剣道団)
- 準優勝 中村 葵 (福井今立道場)
- 第3位 西山 倫代 (鯖江志士樹館道場)
- 第3位 小林 真夕 (敦賀市剣道スポーツ少年団)

【個人戦女子】



中学生個人男子

- 優勝 和田 憲知 (福井今立道場)
- 準優勝 山本 紀仁 (鯖江志士樹館道場)
- 第3位 大谷 悠介 (九頭竜武徳館)
- 第3位 伊藤 彬 (鯖江志士樹館道場)

【個人戦男子】



- 開会式前には令和3年度優秀指導顧問表彰者 松永 隆司 (栗野剣道教室)
- 優秀剣道少年団団員表彰者 元井 颯汰 (福井養正館)
- 小林 真夕 (敦賀市剣道スポーツ少年団)

開会式前には令和3年度優秀指導顧問及び優秀団員表彰伝達式が行われました。

35回 福井県道場少年剣道大会
(兼)全国道場少年剣道大会福井県予選会



中学生個人女子

全国大会出場します。

第64回北信越学生剣道選手権大会

令和 4 年 5 月 15 日(日)

於 富山県総合体育センター
北信越学生剣道連盟主催の「第64回北信越学生剣道選手権大会」が5月15日(日)、富山県の富山県総合体育センターで開催され、7月2日(土)～3日(日) 日本武道館で開催される「第56回全日本女子学生剣道選手権大会」と「第70回全日本学生剣道選手権大会」への出場権を掛けて競いました。男子の部では福井工業大学の菅藤選手が優勝、同大学の井出選手が準優勝というワンツーフィニッシュを飾りました。
福井県勢の試合結果は次の通りです。

【男子の部】

優勝 菅藤 尚哉 (福井工業大)
2位 井手 和樹 (福井工業大)
※男子は10位まで全日本学生選手権大会に出場
上記2名と植山、八幡、小浦、弓納持(何れも福井工業大)

感想

福井工業大学 菅藤 尚哉
第64回北信越学生剣道選手権大会に出場し優勝することが出来ました。このような結果を残すことが出来たのは、日頃ご指導頂いている先生方

や両親、福井工業大学剣道部の仲間が支えてくれたおかげだと思っています。またコロナ禍でありながら大会運営にご協力頂いた関係者の皆様に感謝しています。全日本学生選手権に向け日々精進してまいりますのでこれからも福井工業大学剣道部をよろしくお願ひ致します。

【女子の部】

3位 牛嶋いつか (福井工業大)
4位 小玉 藍 (福井大)
※女子は4位まで全日本学生選手権大会に出場



令和4年度ジュニア育成強化選手権大会

令和 4 年 5 月 21 日(土)

於 福井県立武道館
福井県剣道連盟(主管:少年委員会)は令和4年度の福井県ジュニア強化選手を選考するため5月21日(土)、県立武道館で「令和4年度ジュニア育成強化選手権大会」を開催しました。各部門とも1剣道教室(少年団・道場)より4年生以上2名以内で、24団体から合計103名が参加しました。選ばれた選手は毎月行われる稽古会に参加します。

【選考結果】

▼4年男子(18名参加)

- 谷口 統真 (南越前剣道スポーツ少年団)
- 吉田 幸彌 (五常館)
- 熊谷 颯馬 (福井養正館)
- 呉林嵩太郎 (向笠剣道スポーツ少年団)
- 岸本 清広 (福井養正館)
- 長谷川大誠 (向笠剣道スポーツ少年団)
- 藤川 莉丞 (南越前剣道スポーツ少年団)
- 上塚 尚汰 (敦賀市剣道スポーツ少年団)

▼4年女子(12名参加)

川島ひなた (向笠剣道スポーツ少年団)



▼5年男子(19名参加)

- 園田 愛心 (敦賀市剣道スポーツ少年団)
- 柳川 栞渚 (みのり剣道スポーツ少年団)
- 岩谷 明依 (福井養正館)
- 泉 祐里 (みのり剣道スポーツ少年団)
- 小村 愛 (金津少年剣道教室)
- 五十嵐陽菜 (坂井剣道スポーツ少年団)
- 鈴木 百花 (南越前町剣道スポーツ少年団)
- 中村 将希 (福井養正館)
- 佐々木海緒 (福井今立道場)
- 元井 汰希 (福井養正館)



5年男子



5年女子

福嶋 克太

(木田剣道スポーツ少年団)

北嶋 瑠騎

(木田剣道スポーツ少年団)

脇本 滉大 (新風館愛宕坂道場)

赤尾 鴻 (金津少年剣道教室)

畑 祐太郎

(鳥羽スポーツ少年団剣道部)

▼5年女子(14名参加)

中荒江羽未

(鳥羽スポーツ少年団剣道部)

小堀 苺愛

(向笠剣道スポーツ少年団)

向井 結衣

(敦賀市剣道スポーツ少年団)

今村 智穂

(五常館)

八木 姫愛 (金津少年剣道教室)

山森 七海 (鳥羽スポーツ少年団剣道部)

寺木 千善

(坂井剣道スポーツ少年団)

脇本 想 (春江剣道教室)

▼6年男子(21名参加)

小林 冬翔

(敦賀市剣道スポーツ少年団)

熊谷 薩馬

(福井養正館)

安達 丈留

(木田剣道スポーツ少年団)

田中 颯馬

(福井今立道場)

縄間 太智

(敦賀市剣道スポーツ少年団)

岩谷 賀生

(福井養正館)

寺前 秀朔

(木田剣道スポーツ少年団)

奥平 貫示 (丸岡剣道スポーツ少年団)

▼6年女子(19名参加)

松ヶ谷 柚花 (鯖江志土樹館道場)

長谷川 沙津紀 (向笠剣道スポーツ少年団)

吉田 ひかり (剣誠館)

宮田 小都乃

(木田剣道スポーツ少年団)

富田 純礼 (新風館愛宕坂道場)

山本 仁華利 (鯖江志土樹館道場)

平松 優衣

(鳥羽スポーツ少年団剣道部)

川島 葉奈

(向笠剣道スポーツ少年団)



6年男子



6年女子

第65回西日本学生剣道大会・第37回西日本女子学生剣道大会

令和4年5月28日(土)～29日(日)

於 久留米アリーナ

(久留米総合スポーツセンター体育館)

福井県勢の結果

【第65回大会(男子の部)】

▽1回戦

福井工業大学 0-7 大阪体育大学

※優勝 鹿屋体育大学

2位 同志社大学

3位 天理大学

3位 立命館大学

【第37回大会(女子の部)】

▽1回戦

福井工業大学 0-4 関西学院大学

※優勝 鹿屋体育大学

2位 環太平洋大学

3位 福岡大学

3位 同志社大学

令和4年度県高等学校春季総合体育大会「剣道競技」

令和4年6月3日(金)～5日(日)

於 福井県立武道館

「令和4年度福井県高等学校春季総合体育大会 剣道競技」が6月3日(金)～5日(日)、福井県立武道館で開催され、男子団体戦男子では福井工業大学付属福井高校が前年の福井実業高校以来60年振りの優勝を遂げた。女子団体は敦賀高校が6年連続11度目の優勝。男子個人戦は安原響希選手(丸岡高)、女子個人戦は青池玖瑠美(敦賀高)が制した。試合結果は次の通り。

【男子個人戦】

優勝 安原 響希(丸岡高)

準優勝 高橋 啓太(敦賀高)

※以上、8月5日(金)～8日(月)、高知市で開催される全国総体に出場する。

3位 柏崎 雅己(北陸高)

4位 森 陽輝(敦賀高)

5位 熊谷 龍馬(敦賀高)

5位 宇野 竜明(敦賀高)

5 位 本島 大成

(福井工大附属福井高)

5 位 奥平 真央 (丸岡高)

※5位までは6月17日(金)～19日

(日)、福井市で開催される北信越

総体に出場する。



【女子個人戦】

優 勝 青池玖瑠美 (敦賀高)

準優勝 重永 花歩 (丸岡高)

※以上、8月5日(金)～8日(月)、

高知市で開催される全国総体に出

場する。

3 位 井上 楓 (丸岡高)

4 位 豊岡 希咲 (敦賀気比高)

5 位 森下依里香 (北陸高)

5 位 坂川 結咲 (敦賀高)

5 位 岸本 歩愛 (敦賀高)

5 位 神原 凜 (高志高)

※5位までは6月17日(金)～19日

(日)、福井市で開催される北信越

総体に出場する。



【男子団体戦】

優 勝 福井工大附属福井高校

3 位 敦賀気比高校

3 位 丸岡高校

3 位 美方高校

※福井工大福井高は前身の福井実業

高以来となる60年ぶりの優勝で、

8月5日(金)～8日(月)、高知市



団体優勝 福井工大附属福井高校

で開催される全国総体に出場する。

4位までは6月17日(金)～19日

(日)、福井市で開催される北信越

総体に出場する。

▽1回戦

福井工大福井高

1 (本数勝ち) — 1 藤島高

丸岡高 5 — 0 福井高専

北陸高 2 — 1 金津高

武生高 4 — 0 鯖江高

美方高 1 — 0 敦賀高

高志高 5 — 0 武生商工高

敦賀気比高 3 — 1 羽水高

▽準々決勝

福井工大福井高 2 — 1 啓新高

丸岡高 4 — 1 北陸高

美方高 2 — 1 武生高

敦賀気比高 3 — 1 高志高

▽準決勝

福井工大福井高

0 (代表勝ち) — 0 丸岡高

敦賀気比高 2 — 0 美方高

▽決勝

福井工大福井高 1 — 0

敦賀気比高

感想

福井工業大学附属福井高校

男子2年 本島 大成

私は春季総体で優勝が決まった瞬

間、これまでの努力が実った嬉しさ

よりも、今まで顧問の先生の指導と

私達の力を信じて厳しい稽古を積み

重ねてきた時間が、決して無駄では

なかったという安堵感が先にやって

きました。なぜなら私達は冬季選手

権大会で初戦敗退という悔しい敗北

を経験し、その悔しさをバネに部員

が一丸となって日々の稽古に一所懸

命打ち込んできたという自負があっ

たからです。

今大会の1、2回戦では全員実力

が発揮できず、納得のいく内容では

ありませんでした。休憩時間に気持

ちを強く切り替えることができ、準

決勝と決勝ではチーム力で勝利をつ

かむことができました。試合中、今

まで私達を支え応援してくれていた

保護者と、チームのみんなを必ずイ

ンターハイに連れていくという一心

で戦いました。今回それを叶えるこ

とができたことに、とても満足して

います。

インターハイでは、福井県代表と

して恥ずかしくないアグレッシブな

試合をするので応援宜しくお願い致

します。

【女子団体戦】

優 勝 敦賀高校

2 位 丸岡高校

3 位 藤島高校

3 位 敦賀気比高校

※敦賀高は6年連続11度の優勝で、8月5日(金)～8日(月)、高知市で開催される全国総体に出場する。4位までは6月17日(金)～19日(日)、福井市で開催される北信越総体に出場する。



団体優勝 敦賀高校

- ▽1回戦
 - 美方高 2-0 北陸高
 - 啓新高
 - 1(本数勝ち) 1 高志高
 - 金津高 4-1 武生高
 - 敦賀高 5-0 羽水高
- ▽準々決勝
 - 丸岡高 1-0 美方高
 - 敦賀気比高 3-0 啓新高
 - 藤島高
 - 2(代表勝ち) 2 金津高
 - 敦賀高 4-0 福井商高
- ▽準決勝
 - 丸岡高 3-1 敦賀気比高
 - 敦賀高 3-1 藤島高

▽決勝
敦賀高 2-1 丸岡高

感想
敦賀高校
女子主将 青池 玖瑠美

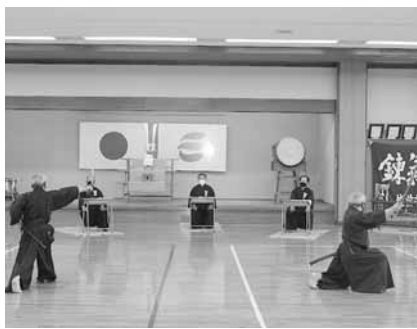
私達は女子団体戦で優勝し、8月5日から8日に高知県で開催されるインターハイの出場権を獲得することができました。

コロナ禍が続き、部活動時間の制限や練習試合に行けない時期がありました。また春季総体までに中止になった大会や、出ることができなかつた大会もありました。実際、2つ上の学年の先輩方が3年生のときの春季総体は中止になり、悔しい思いをされたのを見ました。そして今年3月26日から28日に開催された全国選抜大会に、私達はコロナの影響で出場することができず、悔しい思いでいっぱいでした。稽古や練習試合、大会に出られることは当たり前のことではなく、たくさんの方々の支えや応援があつてこそだと改めて考えることができました。私たちはそういった方々への感謝の気持ちを胸に、絶対負けたくないという気持ちでこの大会にのぞみました。今後はよりいっそう、北信越大会・インターハイに向けて、日々の稽古に励みます。

**第35回福井県居合道大会兼
全日本居合道大会選考会**

令和4年6月12日(日)
於 越前市武道館剣道場

福井県剣道連盟(居合道部)は6月12日(日)越前市武道館で、「第35回福井県居合道大会」を開催しました。地区ごとに3人1チームで行う団体リーグ戦と、段別の個人トーナメント戦を行いました。同大会は10月8日(日)に東京に於いて開催される「第57回全日本居合道大会」の出場選手選考を兼ねたものでした。大会結果は次の通りです。



【団体戦】

優勝 福井市剣道連盟居合道九頭龍会

【個人戦】

初段以下の部 優勝 竹本 穂
四段の部 優勝 齋藤 聖也



団体優勝 福井市剣道連盟居合道九頭龍会



個人優勝の方々

第57回全日本居合道大会

開催日 10月8日(土)
開催場所 東京武道館

五段の部 優勝 長谷川翔平
六段の部 優勝 大嶋 雅典

第14回全日本都道府県対抗 女子剣道優勝大会選手選考会

令和 4 年 6 月 11 日 (土)

於 福井県立武道館

福井県剣連は 6 月 11 日 (土) 県立武道館で、「第 14 回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」の福井県チームを選考する選考会を開催しました。選考された選手は次の通りです。

- 監督 高嶋 寿美 (福井地区)
- 先鋒 青池玖瑠美 (敦賀高)
- 次鋒 梅原 陽乃 (天理大)
- 五将 大西ななみ (敦賀地区)
- 中堅 田中 更幸 (福井地区)
- 三将 山田 聖子 (越前地区)
- 副将 橋本 一美 (坂井地区)
- 大将 道内由佳里 (福井地区)



第14回全日本都道府県対抗 女子剣道優勝大会

開催日 7 月 10 日 (日)

開催場所 日本武道館

令和 4 年度

「いちご」一会とちぎ国体 成年男子・女子選手選考会

令和 4 年 6 月 11 日 (土)

於 福井県立武道館

福井県剣連は 6 月 11 日 (土) 県立武道館で、本年 10 月に栃木県で開催される「いちご」一会とちぎ国体「成年男子、同女子」の福井県チーム選手選考会を開催しました。

選考された選手は次の通りです。
尚、成年女子、少年男子、少年女子の福井県チームは、8 月 21 日 (日) 福井県立武道館で開催される「北信越国民体育大会」で優勝すると「とちぎ国体」への出場権を獲得します。

【国体成年男子】

- 先鋒 中村翔太郎 (明治大)
- 次鋒 林田 匡平 (丸岡高教員)
- 中堅 鈴木 秀典 (福井県警察)
- 副将 松井 宏文 (敦賀気比高教員)
- 大将 山本 英俊 (福井農林高教頭)

【国体成年女子】

- 先鋒 大西ななみ (敦賀高教員)
- 中堅 加藤 藍子 (気比中教員)
- 大将 高嶋 寿美 (県立武道館職員)



令和 4 年度「第 64 回全国教職員 剣道大会」選手選考会

令和 4 年 6 月 12 日 (土)

於 福井県立武道館

福井県学校剣道連盟は 6 月 12 日 (日) 県立武道館で、本年 8 月 11 日 (木・祝) に長野市で開催される「第 64 回全国教職員剣道大会」福井県選手の選考会を開催しました。

選考された選手は次の通りです。

【団体戦】

- 先鋒 林田 匡平 (丸岡高校)
 - 次鋒 梅田 圭仁 (啓新高校)
 - 中堅 三井 清喜 (森田中学校)
 - 副将 和田 真吾 (県立武道館)
 - 大将 小辻 淳二 (三方中学校)
- ※監督兼任

【男子個人戦】

- 林田 匡平 (丸岡高校)

【女子個人戦】

- 大西ななみ (敦賀高校)



第 64 回全国教職員剣道大会

開催日 8 月 11 日 (木)

開催場所 ホワイティング

長野市真島総合スポーツアリーナ

第59回北信越高校剣道大会

令和4年6月17日(金)～19日(日)

於 福井県立武道館

「第60回北信越高等学校剣道大会」が6月17日(金)～19日(日)、福井県立武道館で開催され、男子団体の部で丸岡高校男子が3位、福井工業大学付属福井高校がベスト8、女子団体では敦賀高校が準優勝、丸岡高校がベスト8に入賞しました。また個人戦では男子の部で本島大成選手(福井工大福井高)が準優勝、宇野竜明選手(敦賀高)がベスト8に入賞しました。女子の部ではベスト8以上はありません。

男子個人戦

本島大成選手(福井工大福井高)が準優勝、宇野竜明選手(敦賀高)がベスト8。

▽準々決勝

本島大成 (福井工大福井高) コー

高橋怜暉 (帝京長岡高)

田畑春樹 (新潟明訓高) メコ

宇野竜明 (敦賀高)

▽準決勝

本島大成 (福井工大福井高) メー

富田達也 (龍谷富山高)

▽決勝

長谷川秀馬 (新潟商高) メー

本島大成 (福井工大福井高)

女子個人戦

ベスト8以上無し

男子団体戦

丸岡高が3位、福井工大福井高がベスト8。

【予選リーグ】

▽第1試合会場 2位 福井工大福井高 (2勝1敗1分) || 決勝トーナメントへ

▽第2試合会場 棄権 美方高

▽第3試合会場 3位 敦賀気比高 (2勝2敗)

▽第4試合会場 2位 丸岡高 (1勝1敗2分) || 決勝トーナメントへ

【決勝トーナメント】

▽準々決勝 丸岡高 3-0 長野日大高

▽準決勝 新潟商高 1-0 福井工大福井高

▽準決勝 金沢桜丘高 3-0 丸岡高



男子団体3位 丸岡高校

女子団体戦

敦賀高校が準優勝、丸岡高がベスト8。

【予選リーグ】

▽第1試合会場 5位 藤島高 (4敗)

▽第2試合会場 2位 丸岡高 (3勝1敗) || 決勝トーナメントへ

▽第3試合会場 1位 敦賀高 (4勝) || 決勝トーナメントへ

▽第4試合会場 5位 敦賀気比高 (4敗)

【決勝トーナメント】

▽準々決勝 敦賀高 (代表勝ち) 1-1 丸岡高

▽準決勝 五泉高 (新潟) 2-1 敦賀高

▽決勝 敦賀高 3-0 松商学園高 (長野)



女子団体2位 敦賀高校

優秀選手

男子 本島 大成 (福井工大福井高)
女子 青池 玖瑠美 (敦賀高)



第56回福井県少年剣道錬成大会

令和4年7月3日(日)

於 福井県立武道館

福井県剣道連盟は7月3日(日)、福井県立武道館で「第56回福井県少年剣道錬成大会」を開催しました。県内少年剣道の四大大会のひとつで、県内少年剣道の各団体・道場・剣道教室から男女団体戦には41チーム、各個人戦には194名がエントリー、優勝旗目指して熱戦が繰り広げられました。

9月18日(日) 大阪市で開催される「第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」の出場権をかけた代表選考会も行われ、敢闘賞の4人を含む上位8名が7月18日(月・祝)同武道館で開催される最終選考会で

戦い、上位5名が全日本大会の出場権を獲得します。
また開会式に先立ち少年委員会委員から、鏝迫り合いなど「新ルール」の解説と講習が行われました。
結果は次の通りです。

▼【団体戦】

- 男子の部
- 優勝 福井今立道場
- 2位 福井養正館
- 3位 鯖江志士樹館道場
- 3位 木田剣道スポーツ少年団



団体 2位 福井養正館



団体優勝 福井今立道場

▼女子の部

- 優勝 向笠剣道スポーツ少年団
- 2位 武道学園剣道教室
- 3位 福井今立道場
- 3位 剣誠館スポーツ少年団



団体優勝 向笠剣道スポーツ少年団



団体 3位 木田剣道スポーツ少年団



団体 3位 鯖江志士樹館道場

▼【個人戦】

男子4年以下

- 優勝 岸本 清広 (福井養正館)
- 2位 山口 己八 (朝日剣道スポーツ少年団)



団体 3位 剣誠館スポーツ少年団



団体 3位 福井今立道場



団体 2位 武道学園剣道教室

男子5年以上

- 優勝 齋藤 楓我 (鯖江剣道スポーツ少年団)
- 2位 伊藤 巨希 (鯖江剣道スポーツ少年団)



(武道学園剣道教室)

女子4年以下

- 優勝 岩谷 明依 (福井養正館)
- 2位 木村 江那 (福井今立道場)
- 3位 鈴木 百花 (南越前町剣道スポーツ少年団)
- 3位 和豆田紫聖 (武道学園剣道教室)



- 3位 吉田 幸彌 (五常館)
- 3位 熊谷 颯馬 (福井養正館)

- 3位 福嶋 克太
- (木田剣道スポーツ少年団)
- 3位 北川 将大
- (木田剣道スポーツ少年団)



- ▼女子5年以上
- 優勝 長谷川沙津紀
- (向笠剣道スポーツ少年団)
- 2位 吉田ひかり
- (剣誠館スポーツ少年団)
- 3位 川端 沙歩
- (栗野剣道教室)
- 3位 明間 彩夏
- (丸岡剣道スポーツ少年団)



- ▼都道府県代表選考会
- 優勝 熊谷 薩馬(福井養正館)
- 2位 田中 颯馬
- (福井今立道場)
- 3位 縄間 太智
- (敦賀市剣道スポーツ少年団)
- 3位 安達 丈留
- (木田剣道スポーツ少年団)
- 敢闘賞 湧口 稜大
- (鳥羽スポーツ少年団剣道部)
- 敢闘賞 佐々木海緒
- (福井今立道場)
- 敢闘賞 岩谷 賀生(福井養正館)
- 敢闘賞 小林 冬翔
- (敦賀市剣道スポーツ少年団)



「第17回全日本都道府県
対抗少年剣道優勝大会」
代表最終選考会

令和4年7月18日(月・祝)
於 福井県立武道館

9月18日(日) 大阪市で開催される「第17回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会」の福井県代表選手を選ぶ代表最終選考会が、7月18日(月・祝) 福井県立武道館で行われました。7月3日(日)の「第56回福井県少年剣道錬成大会」での敢闘賞4人を含む上位8名による総当たりリーグ戦が行われ、上位5名が全日本大会の出場権を獲得しました。選考選手は次の通り。

- 熊谷 薩馬(福井養正館)
- 田中 颯馬(福井今立道場)
- 岩谷 賀生(福井養正館)
- 安達 丈留
- (木田剣道スポーツ少年団)
- 縄間 太智
- (敦賀市剣道スポーツ少年団)



第60回福井県中学校夏季競技大会
剣道競技兼県民スポーツ祭(中学校)

令和4年7月9日(土)～10日(日)

於 福井県立武道館

令和4年度「第60回福井県中学校夏季総合競技大会兼'22県民スポーツ祭中学生の部剣道競技」が7月9日(土)・10日(日)、福井県立武道館で3年振りの有観客で開催。団体戦では男女共に鯖江中学校が優勝しました。女子は2連覇、男子は7年ぶりに頂点に立ちました。優勝校は8月19日(金)～21日(日)北海道釧路市で開催される「第52回全国中学校剣道大会」に出場します。

【男子団体】

※予選リーグ2位までが決勝Tに進出

- ▽予選Aリーグ
 - 1位 中央中
 - 2位 丸岡中
 - 3位 至民中
 - 4位 小浜二中
- ▽予選Bリーグ
 - 1位 鯖江中
 - 2位 足羽一中
 - 3位 南越中
 - 4位 気比中
- ▽予選Cリーグ
 - 1位 明倫中
 - 2位 三方中

- 3位 武生六中
- 4位 春江中
- ▽予選Dリーグ
- 1位 松陵中
- 2位 武生二中
- 3位 藤島中
- 4位 小浜中
- ▽決勝T 準々決勝
- 三方中 4-1 中央中
- 松陵中 4-0 足羽一中
- 丸岡中



団体優勝 鯖江中
延長に入ってもお互い決定打が出ずに引き分けとなった。中堅戦は、両者とも激しく打ち合う場面があったが決まらずに延長戦に入った。延長の序盤に田中選手の思い切つ

- 1(代表勝ち) 1 明倫中
- ▽準決勝
- 鯖江中 3-0 武生二中
- 三方中 3-1 松陵中
- 鯖江中 2-0 丸岡中
- ▽決勝
- 鯖江中 2-1 三方中

- 先鋒 岸本(心) ドー 武長
- 次鋒 岸本(掌) 引き分け 河原
- 中堅 田中 メー 吉田
- 副将 荒井 引き分け 渡邊
- 大将 堀 ーメ 深川

男子団体決勝は、予選リーグ2位から強豪校を次々に破り勢いのある三方中と予選リーグから負けをつける選手を出さず安定した戦いを続けた鯖江中との対戦となった。先鋒戦は、岸本心選手が中盤に返しドウを決め、そのまま1本勝ちを収めた。次鋒戦はお互い慎重な展開が続いた。

た飛び込みメンが決まり1本勝ちを収めた。副将戦は渡邊選手、荒井選手とも応じる展開が続いた。延長に入り、互いに打ち合うも決めきれず、引き分けとなった。大将戦は、中盤に深川選手が引きメンを決め意地を見せた。鯖江中は7年ぶり7回目の優勝を決めた。

- ▽北信越出場校決定戦
- 丸岡中 3-2 松陵中

【女子団体】

- ※予選リーグ2位までが決勝Tに進出
- ▽予選Aリーグ
- 1位 三方中
- 2位 武生二中
- 3位 松岡中
- 4位 春江中
- ▽予選Bリーグ
- 1位 明倫中
- 2位 朝日中

- 3位 武生一中
- 4位 小浜中
- ▽予選Cリーグ
- 1位 中央中
- 2位 栗野中
- 3位 三國中
- 4位 大東中
- ▽予選Dリーグ
- 1位 鯖江中
- 2位 芦原中
- 3位 足羽一中
- 4位 小浜二中
- ▽決勝T 準々決勝
- 三方中 3-0 朝日中
- 鯖江中 3-0 栗野中
- 中央中 3-1 武生二中
- 明倫中 4-0 芦原中
- ▽準決勝
- 鯖江中 1(代表勝ち) 1 三方中
- 中央中 4-1 明倫中
- ▽決勝
- 鯖江中 3-0 中央中



に駒を進めた。中央中は予選リーグを2勝1分けで勝ち上がった勢いで決勝トーナメントも勝ち進み、決勝に進出した。先鋒戦は、西山選手が積極的に攻めるが、決めきれずに引き分けた。次鋒戦は、お互い決め手がないまま引き分けとなった。中堅戦は、序盤に山下選手が森川選手の出ばなをとら

- 先鋒 吉田 引き分け 西山
- 次鋒 窪田 引き分け 大澤
- 中堅 山下 コ、メー 森川
- 副将 藤田 メ、メー 中村
- 大将 伊藤 メ、メー 真田

女子団体決勝は、鯖江地区同士の鯖江中と中央中との対戦となった。予選リーグ、鯖江中は全勝で勝ち上がり、準決勝を代表戦で勝ち、決勝

えコテを先取。さらに山下選手は思い切つたメンが有効打となり2本勝ちを収めた。副将戦は、藤田選手が中村選手の居ついたところを逃さずメンを先取した。中村選手も取り返そうと攻めるが、藤田選手が中盤にメンを決め、2本勝ちを収め、鯖江中の優勝が決まった。大将戦は、意地を見せたい真田選手が果敢に攻めるが決まらず、伊藤選手がメン2本を決め、2本勝ちとなった。結果、3対0で、鯖江中の2年連続2回目の優勝となった。

- ▽北信越出場校決定戦
- 明倫中 2-1 三方中

【男子個人戦】

- ▽1年
- 1位 崎元 煌太(松陵中)
- 2位 山口 海司(越前中)
- 3位 脇本 寛大(足羽一中)

3位 橋詰 慶一 (三方中)



▽2年

- 1位 土田 瑛登 (東陽中)
- 2位 森 三志朗 (中央中)
- 3位 山崎 悠翔 (松陵中)
- 3位 岡田 蒼空 (武生六中)



▽全学年

- 1位 堀 登真 (鯖江中)
- 2位 下 寛人 (丸岡中)
- 3位 伊藤児太郎 (明倫中)
- 4位 元井 颯汰 (松陵中)



男子全学年個人

男子個人決勝リーグには、伊藤選手(明倫中)、堀選手(鯖江中)、下選手(丸岡中)、元井選手(松陵中)が勝ち上がった。堀選手は、勢いのあるメンで有効打を決め、3連勝で優勝を果たした。下選手は、相手の隙を見逃さずにメンが随所に決まり2勝し、第2位となった。堀選手と下選手が全中の切符を手にした。

【女子個人戦】

▽1年

- 1位 島田樹衣那 (武生二中)
- 2位 守 彩花 (中央中)
- 3位 藤田 優花 (春江中)
- 3位 三田村空美 (南越中)

▽2年

- 1位 廣中 夏 (中央中)
- 2位 藤田ひかり (鯖江中)
- 3位 小川マリサ (武生二中)
- 3位 園田 夢萌 (氣比中)

▽全学年

- 1位 山下 心優 (鯖江中)
- 2位 伊藤 光希 (鯖江中)
- 3位 西山 倫代 (中央中)
- 4位 中村 葵 (中央中)

女子個人決勝リーグには、西山選手(中央中)、伊藤選手(鯖江中)、山下選手(鯖江中)、中村選手(中央中)が勝ち上がった。山下選手は思い切った技が次々と有効打となり、3連勝で優勝した。伊藤選手は相手の隙をうまくとらえ2勝し、第2位



2年個人



1年個人

となった。山下選手と伊藤選手が全中の切符を手にした。

記 福井県中体連剣道競技専門部

大平 達也



女子全学年個人

みんなでスポーツフェスタ

親子で剣道遊び体験

令和4年7月9日(土)

於 福井県営体育館

7月9日(土)に福井県営体育館で開催されました福井県スポーツ協会主催「みんなでスポーツフェスタ」において、県剣道普及部が剣道遊び体験コーナーを開設しました。

国体競技やユニバーシアード、障がい者スポーツの17競技がブースを設け、来場した親子が各競技の魅力に触れま





した。
 剣道ブースでは、「おもちゃや剣で剣道エクササイズ」、「木刀で新聞切り」、「竹刀でボール打ち」の3つのコーナーで剣道を遊び感覚で体験してもらいました。
 全体で約170名の来場者があり、剣道体験コーナーには、親子をはじめ52名の参加がありました。



『22福井県民スポーツ祭
 剣道競技「高校の部」』

令和4年7月16日(土)
 於 福井県立武道館

『22県民スポーツ祭剣道競技高校の部』が7月17日(土)、福井県立武道館で開催され、男子は北陸高校A、女子は丸岡高校Aがそれぞれ優勝しました。

【男子団体戦】

- 優勝 北陸高校A
- 2位 敦賀高校A
- 3位 丸岡高校A
- 3位 美方高校A

【女子団体戦】

- 優勝 丸岡高校A
- 2位 敦賀高校A
- 3位 敦賀高校B
- 3位 高志高校

【優秀選手】

- 男子 熊谷 龍馬 (敦賀高校)
- 女子 杉本 和香 (敦賀高校)



男子団体3位 丸岡高校A



男子団体2位 敦賀高校A



男子団体優勝 北陸高校A



女子団体2位 敦賀高校A



女子団体優勝 丸岡高校A



男子団体3位 美方高校A



女子団体3位 高志高校



女子団体3位 敦賀高校B